

北斗市総合戦略[骨子案～二次素案] に対する各委員意見要旨

第1 基本的な考え方 | 総合戦略策定の基本的な考え方、市の現状や進むべき方向

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【策定の趣旨】</p> <p>○ 戦略策定の趣旨、事業イメージが示されないと意見を出しづらく一次素案では明示願いたい</p>	⇒ ご指摘のように資料提出のうえ、ご意見を頂戴したい。	⇒ 総合戦略の取組みに対する新型交付金など国の財政支援を見定めつつ、可能な限り具体の事業を示し取組みを進めます。	
1-2	<p>【基本目標 ~ 施策の方向性】</p> <p>○ 新幹線効果を生かすことが戦略の要と思うので、全ての基本目標に開業効果を絡めたほうが北斗市の特徴を出しやすい</p>	⇒ 骨子案では出し切れていなかった面もありますが、北海道新幹線開業を全てに絡めた総合戦略としたい考えは同じであります。	⇒ 総合戦略では新幹線開業を要として、開業効果を引き出し、多くの分野に波及することを基本的な考えとしています。	
1-3	○ 北斗市らしさを明確に見せる必要がある。SWOT分析の手法も用い、北斗市の強み・弱みを明示することで何が北斗市らしさかが明確になり、費用対効果に配慮した施策展開が可能な戦略でできると考えます	⇒ ご指摘を参考とさせて頂きたい。	⇒ 当市の代表的な強みは高速交通網の拠点エリアと一次産品など立地環境の優位性と地域資源であり、弱みは観光分野をはじめ交流人口の拡大を吸収できる基盤の弱さであるので、その点を意識して取組みを進めます。	
1-4	○ 新駅のできる市への期待・役割という観点から現状までを見ると、大きな事業へのマンパワー不足。そこをカバーして出来る事の計画立てが必要	⇒ マンパワー不足や危機感が感じられないなどのご指摘を踏まえた一次素案に反映させたい。	⇒ 総合戦略に関する基本的な考え方は、上記1-1のとおりです。なお、本質の改善に至るための考え方のご指摘については、総合戦略を市の全体的な行財政運営の視点から見極めることであるかと捉えています。	
1-5	○ 地方はマンパワーや財源が十分ではないがゆえに、住民の安心な暮らしを維持するための財源・税収確保策を探る中で最悪のシナリオを描いてみなければ表面的な取組みに終始し本質の改善には至らない。その点からすると骨子案には危機感が感じられない。	⇒ 同 上	⇒ 同 上	
1-6	○ まずは開業日にどう北斗市の素晴らしさを全国に発信できるかだ	⇒ 北海道新幹線開業の華々しいスタートを演出する主体は多様と考えていますが、総合戦略は新幹線開業から開業後の地域づくりを重点的に進める指針としたいと考えています。	⇒ 来年3月26日の北海道新幹線開業を万全の態勢で向かえるよう、必要な取組みや関係機関との協議・調整を進めています。	
1-7	○ 総合戦略の施策検討では“選択と集中”以外ないと思うが北斗市は新幹線開業があるので、近隣や道央圏も巻き込んでマンパワー不足を補い華々しいスタートを切ることに向け一丸とならなくてはいけない状況にあると思う			

第1 基本的な考え方 | 総合戦略策定の基本的な考え方、市の現状や進むべき方向

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
2-1	○ 人口が減少しており、企業誘致と地元の家を建てて住んでもらいたい。	⇒ 総合戦略を展開する中において、ご指摘の方向と結果を出せるよう努めてまいりたい。	⇒ 働く場の確保である企業誘致とともに住民サービス水準の維持を基本として、誰もが住み続けたいと思える定住対策に取り組みます。	
2-2	○ 今後は、数値目標を具体的に決定できるよう最終案に向けて各委員と協議したい	⇒ 総合戦略を目に見える形にするためにも数値目標がポイントとなるので審議をよろしく願いたい。	⇒ 5年間の計画期間を見据えた数値目標を設定しています。	
2-3	○ ・委員からは様々な観点からの「北斗市からの情報発信機能の強化」に関する言及があった。新幹線開業後、一層の都市間競争の激化が予想される中で、この指摘は重要である。 ・北斗市では「ロゴマーク・キャッチフレーズ」を積極的に活用しているが、CIが有しているはずの全体的なメッセージの発信には繋がっていない。 ・新駅周辺整備計画においても、このCIにつらなる整備方針が分かりづらく、各種法人が立案する進出のための大義名分が明示しづらくなっているのではないかと。駅を中心とした都市の再生を目指す好事例として旭川市の「北彩都あさひかわ」があり、今年度の都市景観大賞を得ている。 ・「北斗市のグランドデザインを目に見える形にする」CIとその応用展開であるVIについて推進するトータルデザイン推進本部をつくり、地域創生に関わる諸事業のPDCAサイクルを回していくことを提案します。	⇒ 北斗市のまちづくりを進める上で貴重なご提言であると思います。なお、総合戦略の策定段階の限られた時間の中にあつては、議論や検討を十分に行えないため、総合戦略を展開していく中で、または、今後、総合計画を策定する場合には、ご提言の内容を踏まえた検討を行ってみたい。	⇒ 情報発信機能の強化は議会からも指摘されており、強化に向けた取り組みを進めて参ります。また、具体のご指摘に関しては、左欄に記載のとおりであります。	
1-8	【人口ビジョン・対策】 ○ 子どもへの医療費助成が人口に好影響と思っていたが実際は減少している	⇒ 人口ビジョンに関する基礎データを提出する際に要因などの詳細をご説明したい。	⇒ 当市の充実している子育て支援策と合計特殊出生率の低下に関する分析は難しいところですが、今後は子育て支援を担当する課を民生部内に設置するなど、より充実した子育て支援に取り組みます。	
1-9	○ 人口問題対策は、あれもこれもではなく何かに特化した戦略を検討すべき	⇒ 人口問題対策は即効性のある対策は難しいと考えますが、市の特徴を最大限に活かした絞込みを行いたいとの考えであります。	⇒ 現在の市民サービス水準を維持した上で、社会動態の均衡化(移住と定住)や出生率向上を目的とした新たな施策に取り組みます。	
1-10	○ 総合戦略がきっかけになり、若い人を呼び込めるかと考えています	⇒ そのようなものにしたと考えています。	⇒ 総合戦略は特定の世代に偏らない案としていますが、新幹線開業による人・モノの交流などで若い世代の増加に繋がるよう努めます。	

第1 基本的な考え方	総合戦略策定の基本的な考え方、市の現状や進むべき方向
------------	----------------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
2-4	○ 人口減少問題の克服に向けた取組が重要で、新幹線開業効果を活かした産業振興に注力し、北斗市らしさを前面に出したまちづくりが必要不可欠となる	⇒ 総合戦略を展開する中において、ご指摘の方向と結果を出せるよう努めてまいりたい。	⇒ 新幹線開業の効果を引き出し、多くの分野に波及させることを基本とする総合戦略の効果を今後検証していく中で、北斗市らしさを活かしているかなどについて、ご意見を伺って参りたいと考えています。	

基本目標 1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <雇用の確保>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【表題／開業効果】</p> <p>○ 「北海道新幹線の開業効果を活かした産業の振興・・・」とあるが、開業効果とは受け身に聞こえるので「北海道新幹線を活かした・・・」へと修正が必要</p>	⇒ ご指摘のとおり修正してまいりたい。	⇒ ご指摘を踏まえて修正しております。	
1-2	<p>【企業誘致】</p> <p>○ 企業誘致は他自治体との競争になるので、あまり重点としないほうが良いのでは</p>	⇒ 過去の企業誘致のような近隣企業の誘致競争では意味がないという点で認識は一致しております。	⇒ 企業誘致は新駅周辺への立地促進を重点に取り組みます。	
1-3	○ 駅前開発に関連する企業誘致(企業側のメリットを生む助成や従業員の市内居住援助)による雇用創出	⇒ 新駅前への企業誘致は市の既定方針に同じです。また、居住援助は移住定住対策で吸収できるもの是对応したい考えです。	⇒ 企業立地における従業員の居住支援として開発行為の誘導策等を検討しましたが、民間投資が進まない現状においては公平な制度設計や財政支出の増大など課題が多いと判断しています。	
2-1	○ 企業誘致では時間的な距離短縮も含めてPRするべきだし、全国的に誘致に取り組むだろうから早めに企業のリストアップを行い進めるべきではないか	⇒ 企業誘致や移住においては、時間的な距離短縮効果など北斗市の優位性をアピールしてまいりたい。	⇒ 企業誘致では可能な限り広い情報収集と企業訪問などの取り組みを進めます。	
2-2	○ 道内の他の自治体からは道南は新幹線あり飛行機あり船もあり物流がしっかりとできているとよく言われる	⇒ 総合戦略においても北斗市及び道南地域の物流機能の優位性を活かしてまいりたい。	⇒ 総合戦略に限らず、地域振興においては優位性のある交通インフラを活かした取り組みを進めます。	
2-3	○ 首都圏との行き来ではこの地域の優位性は高い。駅前開発がうまく進まなかった理由を認識した上でなければIT誘致などでも同様の課題が出るのでは。誘致は単独で進めるのか、道南全体で検討してもよいのでは	⇒ 新駅駅前開発は特殊性があるので他地区との企業誘致とは状況が異なります。また、企業誘致は基本的に単独で進めることとなります。	⇒ 企業誘致は基本的には単独で進めることとなりますが、開業後の状況に応じた柔軟性も必要であると考えています。	
2-4	○ IT企業誘致では函館市の成功例もある。実践型雇用創出事業(パッケージ事業)も函館市で今年採択されており、そのような事業も活用した方がよい	⇒ 参考とさせていただきたい。	⇒ 今後の参考とさせていただきたい。	
2-5	○ 企業誘致では立地後に倒産や閉鎖した場合の負担が無いようになっているのか	⇒ 立地後に起こり得ることであり、その場合は労政面で可能なサポートが必要となりますが、総合戦略の策定段階においては雇用の創出に向けた戦略となるようまとめてまいりたい。	⇒ 総合戦略における企業立地による雇用創出では、主に新駅周辺への立地促進の取り組みを進めます。	

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
2-6	<p>○ ・IT関連企業への支援は函館市の例を見るように有効。(函館市は産業支援センターにインキュベータールームを用意しているが現在満室であり、過去に駅前の空きビルを活用したeスペース・レンタルオフィスを設置した支援も効果を挙げている)</p> <p>・北斗市の場合は新駅の近くにインターネット回線がある程度整備した貸事務所を用意し、新幹線を利用したの打合せや商談がスムーズに進むようにすることで首都圏や北関東の企業には便利と思う。類似例としては千歳アルカディア・プラザがある。誘致対象業種としては、コールセンター、通販会社、企画会社など生産設備が不要な様々な業種が候補になるかと思う。</p> <p>・函館市に比べて居住環境に恵まれているので、企業誘致と組み合わせで進出企業の職員を対象に空き家を斡旋すれば首都圏では実現困難な庭付き一戸建て生活と車を所有してIT企業に勤務することも可能で魅力的に映ると思う。可能であれば車のリース、レンタル等の斡旋を行い、高速道路も活用できるようにすれば駐車場確保が難しい函館市中心部よりも企業としては魅力的と思う。</p> <p>・個々の施策をバラバラに見せるよりは、上記のように組み合わせで実施した方が効果的にアピールしやすいと思う。</p> <p>【雇用環境など】</p>	<p>⇒ 函館市の事例を含め、IT企業や生産設備を必要としない業種企業の誘致及び居住環境支援など、総合戦略の施策を制度設計していく中で参考とさせていただきたい。</p>	<p>⇒ 新駅周辺地区企業立地助成制度の適用期間を延長するなど民間投資への支援を基本とした取り組みを進めます。また、立地企業従業員の住居支援は、空き家バンク制度において進める予定です。</p>	
1-4	<p>○ 仕事は盗んで覚えるものから育てながら覚えさせるへと変化している。育てた職員をいかに外へ出さないか、外国人実習生やアルバイトを使える指導者的な人材も育てなければならない</p>	<p>⇒ 企業の雇用などに対する支援のあり方について、会議の中でも伺ってまいりたいと思います。</p>	<p>雇用支援策は効果を慎重に見極めた内容を予定しています。</p>	
1-5	<p>○ 生産年齢人口が減少しており、企業は伸ばすか維持かの状況で、人がいなければ会社が成り立たない</p>	<p>⇒ 同 上</p>	<p>雇用支援策は効果を慎重に見極めた内容を予定しています。</p>	

基本目標 1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <雇用の確保>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-6	○ 食品関係では円安や人手不足で厳しく現状を乗り切るのが精一杯である	⇒ 企業の雇用などに対する支援のあり方について、会議	⇒ 雇用支援策は効果を慎重に見極めた内容を予定しています。	
1-7	○ 高校生はひとつでも多くの資格を取り就職や進学を目指している。函商は8割が女子で地元志向が非常に強く、函館市内か近郊を希望している。また、地元志向が強いので安心して過ごせる環境が必要	⇒ 全体的な雇用の場を創出する中で取り組みを進めたいと思います。	⇒ 全体的な雇用の場を創出する中で取り組みを進めます。	
1-8	○ 子ども達に仕事に興味を持ってもらえるよう体験就労を毎年行っている	⇒ ものづくりに関する子どもへの教育も大切と考えます。	⇒ 同 左	
1-9	【雇用創出・情報発信】 ○ 新駅前ホテルの雇用創出(物販・飲食・宿泊)と観光振興	⇒ 既存の施策と一致しているご指摘です。	⇒ 同 左	
1-10	○ 北斗市や市内の会社のPR方法として、ふるさと納税の強化やミス北斗もある	⇒ 総合戦略では全ての面において、情報発信とその手法が重要であると考えています。	⇒ ふるさと納税を活用した特産品PRを充実します。	
1-11	○ Uターン雇用の優位性の打ち出しと全国への発信による若い世代や後継者づくり	⇒ Uターン雇用などでは、北斗市における暮らしの利便性などとともに情報発信に努めたいと考えています。	⇒ 暮らしに関する情報発信と漁業への新規就業制度を加えた一次産業の担い手対策に取り組めます。	

基本目標 1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <観光・交流人口>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
	【北斗市観光に関する考え方】			
1-1	○ 観光を進める上では、お客様への意識をまち全体でどう考えているのかから始まる。また、北斗市でできる観光から始めるスタンスでよいと思う	⇒ 北斗市観光振興プランに基づいて、ご指摘の点も含めて取り組みを始めているところです。	⇒ 観光面に関しては、総合戦略も含めた全体的な観光振興策の中で取り組みます。	
1-2	○ 北斗市の観光資源は良いものがあるが、北斗市だけで観光客を呼び込むのは無理。どこから人を呼び込むかが重要ではないか	⇒ 北関東以北の地域を対象としたプロモーション活動を実施しているところです。	⇒ 観光等のプロモーション活動を継続するとともに、開業後はプロモーション効果の発現に向けた取り組みを進めます。	
1-3	○ 北斗市らしさ以前にどういうまちであるとの認識を市は持っているのか、将来的な方向性の考えは	⇒ 多様な面を持ち合わせているまちではありますが、一口で言えば都市と自然が共生している暮らしやすいまちであると認識しています。	⇒ 同 左	
1-4	○ このような検討の場が遅すぎた感がある。また、観光は大野地区が主になっている気がするので、市内全体を見廻して地域巡りをしてみてもどうか	⇒ 今後も素材の発見と磨き上げは必要となりますので、ご指摘を踏まえてまいります	⇒ 同 左	
2-1	○ 観光産業は産業連関表を使うと非常に幅広い産業セクターとの関連性があり、それぞれを振興するのに良い産業という認識であり、国も様々な政策の中で観光に結び付けた地域振興を提言している。	⇒ ご指摘のように観光産業は幅広い関連と効果を生むと認識しており、北斗市の特徴の一つである一次産業との関連を含めてより広く経済的な効果を出せるよう取り組みを進めてまいります。	⇒ 同 左	
2-2	○ 北斗市の観光と消費という点では一次産業を活かした体験観光があり、特に函館市と連携して修学旅行の誘致が可能性の高い分野だと思っている。体験型で道南が連携することが有効で、プロモーション活動も同様	⇒ ご指摘の一次産業を活かした体験型観光、修学旅行の誘致は、北斗市観光の進むべき方向の一つであると思いますので、受け皿など基盤を整えつつ、観光メニューとして精査していくことが急務であると認識しています。	⇒ 観光面に関しては、総合戦略も含めた全体的な観光振興策の中で観光協会との連携を強めて取り組みを進めます。	
	【北斗市らしさ】			
1-5	○ いまある観光資源を線で結ぶ、北斗市らしさをどう情報発信するかであり、方向性が決まれば具体化できるし、参加体験型で北斗でなければ体験できないものを提案できればチャンスとなる	⇒ 北斗市らしさには、歴史や風土からくる内面的ならしさと、外に向けて発信する特徴を活かしたらしさがあると考えていますので、総合戦略では外を意識した北斗市らしさを強く出していきたくと考えています。	⇒ 同 左	

基本目標 1	北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <観光・交流人口>
--------	-------------------------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-6	○ 北斗市らしさが具体的に見えないので全国へのPRが弱いのでは。東北地方の方がこちらでPRしたいとの売込みが増えている	⇒ 北斗市らしさには、歴史や風土からくる内面的ならしさと、外に向けて発信する特徴を活かしたらしさがあると考えていますので、総合戦略では外を意識した北斗市らしさを強く出していきたくと考えています。	⇒ 同 左	
	【情報発信】			
1-7	○ 観光に関する情報発信をどのように充実させていくのか	⇒ 総合戦略では全ての面において、北斗市の知名度を高めるとともに情報発信・手法が重要であると考えています。	⇒ 同 左	
1-8	○ 北斗市や市内の会社のPR方法として、ふるさと納税の活用やミス北斗もある	⇒ 同 上	⇒ 同 左	
1-9	○ ずーしーほっきーを使ったお菓子を作っているがどうPRするかが難しい問題	⇒ 北斗市の知名度不足がPRの難しさを感じさせている原因と考えますので、その点を強く意識した情報発信を行ってまいります。	⇒ 同 左	
1-10	○ 開業後3、4年が勝負ではと思う。市内には身近なところに素晴らしい景観があるが、そういうものをPRできていない	⇒ 素材の活用、PRなどはご指摘を踏まえて取り組みを進めます。	⇒ 同 左	
1-11	○ 北斗市の認知度が低く、このことからJAではブランド名を「はこだて育ち」としている。また、関連してアクセス列車の増編成から駅の外に人が出てくるのか	⇒ 駅周辺の賑わいが得られるよう進めたい。	⇒ 新駅周辺における賑わいの創出に努めます。	
	【近隣などとの連携・都市交流】			
1-12	○ 観光に関して七飯町との連携はどうか	⇒ 個別の自治体ではなく、みなみ北海道観光推進協議会の枠組みの中で取り組んでいる状況です。	⇒ 同 左	
1-13	○ トラピスト修道院は観光の目玉(スポット)となることに賛成しているのか状況はどうか	⇒ 厳粛・静寂な環境に支障のない範囲であれば、ツアー客への修道院内部見学など一定の条件の中で協力をいただいています。	⇒ 同 左	
1-14	○ 他の合併自治体との姉妹都市交流は行っているのか	⇒ 現時点では行っていないが、総合戦略を展開する中で都市間交流に取り組みたい考えです。	⇒ 東京北区など交流実績のある都市地域との交流を進め、広がりを持つようにと考えています。	
2-3	○ スポーツ合宿誘致における近隣との協力はどうか	⇒ 大沼のクロスカントリーコースの活用など、必要なところは連携して進めています。	⇒ 同 左	

基本目標 1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <観光・交流人口>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-15	<p>【観光・特産品の具体策】</p> <p>○ 観光ルートマップの作成とPR。ずーしーほっきーを観光の目玉とし市民に愛される存在に</p>	⇒ ご指摘のように取り組んでまいります。	⇒ 同 左	
1-16	○ 観光ルートマップ(市民おもてなしマップ)の作成とPR。素材は、きじひき高原、谷観光農園、トラピスト、ハセスト、ラッキーピエロ、七重浜の湯、スイーツショップ巡り(ジヨリクレール・夢や)などルートは色々	⇒ 旅行スタイルに応じた観光ルートを提案してまいります。	⇒ 市内周遊の観光コースに付加価値を設けるなどの取り組みを進めます。	
1-17	○ 新駅前ホテルと観光振興 ・ 歴史、スイーツ、体験型、ゴルフ等の観光モデルコースの案内	⇒ 旅行スタイルに応じた観光ルートを提案してまいります。	⇒ 同 上	
1-18	○ 遠方に住む山林所有者が多く自分の山を見る機会がないので「観光」と「自分の山を見る」という北斗市の観光に貢献できる事業を検討している	⇒ 検討段階に応じて情報提供をお願いしたい。	⇒ 同 左	
1-20	○ B級グルメ、ホッキ飯、北斗の麺、近隣大型施設とのコラボレーションなど	⇒ 北斗市の資源をフル活用してまいります。	開業イベントでは、北斗市と道南の食の特産品ブースを設置し盛り上げる予定です。	
1-21	○ 北斗市ならこれという特産品による新商品開発	⇒ ご指摘のとおり。	今年度から実施している特産品開発への支援を継続し特産品開発の気運を盛り上げます。	
1-22	<p>【文化・スポーツ合宿の具体策】</p> <p>○ 東京オリンピック合宿へ手を上げるべき、チャンスである</p>	⇒ 今後の検討事項であります。	⇒ 同 左	
1-19	○ 北斗市らしさの積極的なPR ・スポーツ施設の充実 ～更なるスポーツ合宿誘致 ・音楽設備がすばらしい ～宿泊を伴う大型コンクール誘致	⇒ ご指摘の取り組みを進めてまいります。	⇒ 総合運動公園の拡充をはじめ公共施設を活用した合宿誘致等に引き続き取り組みます。	
2-4	○ 陸上競技場の設備が不足している。作りっぱなしではなく、今出来ることはやるべきで、子ども達も安心して活動できる場所になり、北斗市に人を呼び込むことにも繋がる。	⇒ 公共施設全体の管理計画(長寿命化)を策定する中で検討してまいります。	⇒ 同 左	

基本目標 1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる <一次産業>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【漁業の課題】</p> <p>○ 漁業者はこれまで10年で半分となり65歳くらいが平均年齢で若い後継者はいない。地区で目玉となる事業がないから若い後継者がいないのではない。前任地では外へ出ていた後継者が戻っても食べれる目玉があるから若い人が多くいる。</p>	⇒ 1次産業は後継者を含む担い手対策が必要であり、そのためにも高収益化などに向けた支援を行います。	⇒ 漁業を含めた一次産業の新規就業支援制度など既存事業とあわせて高収益化等に向けた支援に取り組めます。	
1-2	○ 牡蠣の養殖に成功しているので特産品に発展できるような支援を願っている	⇒ 特産品になれる素材ですので、効果的な支援を行います。なお、漁協が建設する貝類を中心とした直売施設への補助も決定しています。	⇒ 漁協直販施設整備への支援や養殖基盤への支援など特産品化に向けた取り組みを進めます。	
2-1	○ 漁業の新規就業者支援制度が示されているので、これが出来れば若い人などが少しでも漁業への魅力を感じ、水産業が伸びるのではない。	⇒ 制度設計も含めて漁協さんとも連携しながら漁業振興を図りたい。	28年度から漁業の新規就業支援制度を始めます。	
1-3	<p>【地元産スギの活用と定住】</p> <p>○ 市内の豊富な森林資源を活用し、U・Iターンして住宅建設する方を対象に、地元産スギ材を提供するなど住宅建設促進も含めた施策はどうか</p>	⇒ 移住・定住対策として効果的な支援制度を構築する中で検討してまいりたい。	現時点では供給体制や価格などの課題があり、引き続き、検討する必要があると考えています。	
1-4	<p>【北斗市農業の現状】</p> <p>○ 農業を取り巻く後継者不足やTPPIによる農業経営の危機は、北斗市においても同様であるが、後継者問題は当JA管内の他地区よりは良い方だ。なお、JA新函館としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「担い手要請講座」や「あぐりへい屋」の運営により、優れた担い手の養成・農業経営の高度化、地産地食に取り組んでいる。 ・ 北斗市産品として「ふっくりんこ、とまと、長ネギ、きゅうり」を中心に首都圏や関西圏に出荷している。 	⇒ より一層の農業振興を図りたい。	同 左	
2-2	○ 一次産業は北斗というより北海道ブランドとして海外に照会するべきで、そのために可能性のある地域と交流を深めるべき	⇒ 北海道ブランドとしての輸出産業化という方向性は、北海道と連携のうえで進めていくものであると捉えています。まずは北斗市ブランドの普及、販路拡大に取り組んでまいりたい。	同 左	

基本目標 2 北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す <定住・移住>

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【移住を担う人材】</p> <p>○ 移住者に関して年齢層などターゲットを絞っているのか。移住コーディネーターとなる人材はいるのか</p>	⇒ 総合戦略では特定世代に絞り込む考えはありません。また、人材面では道や民間をはじめ他主体との連携を予定しています。	⇒ 同 左	
1-2	<p>【産業と定住】</p> <p>○ 一次産業は定住100%であるが、市民の市内への就業率や近隣への就業率はどうか。また、その点を市はどう考えているのか。</p>	⇒ 市民が市内に雇用の場を持つことは一つの理想型ではあるが、都市計画など生活圏(居住、仕事、教育、医療など)は函館圏で歴史的にも成り立っており、そのような広域連携を進めてきている。一方で、良い意味での自治体間競争も圏域の発展に繋がると考えている。	⇒ 同 左	
2-1	<p>【移住対象】</p> <p>○ 国が掲げるCCRCを挙げていないが何か理由があるか</p>	⇒ 幅広い世代を対象とした移住対策に取り組んでまいりたい。	⇒ 同 左	
2-2	<p>【空き家利活用】</p> <p>空き家の再利用は大変ではないか。隣人の意見を聞く繊細なテーマで、自分の生活エリアに新しい人が入ると抵抗感があるのでは</p>	⇒ ご指摘を踏まえた取り組みとしたい。	⇒ 空き家の利活用については、28年度に空き家バンク制度を上げた上で、具体の支援策は危険空き家対策への相乗的な効果を出せるよう29年度から始める予定です。	
2-3	○ 空き家バンクは行政が直接ではなく、仲介する方など信頼を担保する仕組みなど工夫を考えているか	⇒ 空き家バンクの体制構築において、民間事業者の参加をいただきたいと考えています。	⇒ 同 左	
2-4	○ 伊達市では職員に移住コーディネーターに近い人材がいるようだ。市役所の体制を整える必要がある	⇒ 空き家バンクの体制構築において、市役所の役割に柔軟性を持ちながらも明確にしてまいりたい。	⇒ 同 左	
1-3	<p>【移住支援策】</p> <p>○ 市内の豊富な森林資源を活用し、U・Iターンして住宅建設する方を対象に、地元産スギ材を提供するなど住宅建設促進も含めた施策はどうか</p>	⇒ 移住・定住対策として効果的な支援制度を構築する中で検討してまいりたい。	⇒ 現時点では供給体制や価格などの課題があり、引き続き、検討する必要があると考えています。	
1-4	○ Uターンや移住希望者を発掘するためハウスメーカーや不動産会社とタイアップし住居を支援。企業のバックアップで就職支援。当別風の丘を利用したおもてなし体験。	⇒ 空き家を活用した移住対策では、民間企業を含めた仕組みを構築したいと考えています。	⇒ 同 左	

基本目標 2	北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す <定住・移住>
--------	--------------------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-5	○ Uターン雇用の優位性の打ち出しと全国への発信による若い世代や後継者づくり	⇒ 全てにおいて情報発信を充実してまいります。	⇒ 同 左	
2-5	○ 住みやすい市であるので、移住者の住宅建設に助成し、U・Iターンしてもらいたい。	⇒ 移住対策の制度設計の段階で参考としてまいりたい。	⇒ 移住者の住宅取得に対する支援は金額面でのインパクトも必要であり、財政面での課題が大きく難しいと判断しています。(茂辺地・石別地区を除く)	
2-6	○ 職場における「住みたくなるまち」の条件は次の意見でしたので紹介します。 ①駅前アウトレットモールやシネマコンプレックスのような複合施設があること(1箇所天候に左右されず購入できる) ②駅近くにまとまって整備された家庭菜園も出来るような住宅地(70坪程度)が手頃な価格で購入できること ③医療費が高校生まで無料化であることは魅力だが、医療機関は函館市となるので大型複合病院があるといいこと ④函館市のペットタウン化として居住地と複合スーパーを整備すること	⇒ 今後のまちづくりにおいて参考とさせていただきたい。	⇒ 同 左	
2-7	【交流人口】 ○ 陸上競技場の設備が不足している。作りっぱなしではなく、今出来ることはやるべきで、子ども達も安心して活動できる場所になり、北斗市に人を呼び込むことにも繋がる。	⇒ 公共施設全体の管理計画(長寿命化)を策定する中で検討してまいりたい。	⇒ 同 左	

基本目標 3	子どもを生み、育てたいという希望をかなえる
--------	-----------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【教育や子どもの環境】</p> <p>○ 現在の子どもを取り巻く社会環境は、人を思いやる心を無くさせているのでは</p>	⇒ ご意見として受け止めます。	⇒ 同 左	
2-1	○ 北斗市にはかなでーるという良い施設があり、地域全体としても吹奏楽に取り組んでいる。拠点施設があるので教育環境づくりとして色々な思索の可能性があるのではないか。また、小中一貫校を文科省が公立化していくので、積極的に取り組んでいく自治体が増えるのでは	⇒ 北斗市が誇れる資源(モノ)としてご指摘を踏まえた取り組みを進めてまいりたい。	⇒ 同 左	
1-2	○ 若い人が減るのは地域のためにという教育ができていないからなのかもしれない。学校やまちも発信が大事で子育てに関してもそれが必要ではないか	⇒ 暮らし続けるには、ご指摘のように郷土愛を育むことも必要であると認識しています。また、総合戦略を機に積極的な情報発信に努めます。	⇒ 同 左	
1-3	<p>【働く場の重要性】</p> <p>○ 北斗市は高校生までの医療費助成など子育てサポートは手厚いが若い人口が増えていない。高校卒業後の働く場所がないのが問題ではないか</p>	⇒ ご指摘を踏まえて取り組みを進めてまいります。	⇒ 全体的な雇用の場を創出する中で取り組みを進めます。	
1-4	<p>【子育てなどへの支援策】</p> <p>○ 不妊治療は経済的な負担も大きく、出産後の子育て支援はあるが、子どもをつくりたい方への施策も考えてもらいたい</p>	⇒ 道が実施している特定不妊治療(体外受精及び顕微授精など)のほか、初期段階の不妊治療(薬物治療、人工授精、検査費用など)にかかる費用の経済的な負担軽減について、ニーズを把握し助成の適否を検討したい。	⇒ 道が実施している特定不妊治療への上乗せを基本とした不妊治療への支援に取り組みます。	
1-5	○ 医療費助成は高校生までを対象としてもよいと思う	⇒ 現在は高校生まで拡大しています。	⇒ 同 左	
1-6	<p>○ 共稼ぎ家庭が多く、子供は1人か2人という考えの現状を踏まえた子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費助成と児童手当等の充実 ・ 若い転入世帯(結婚・出産)への助成 	⇒ 北斗市の子育て支援制度は充実していると考えていますが、手薄な妊婦・出産前後のサポートを充実したいと考えています。	⇒ 北斗市の子育て支援制度は既に充実していますので、過度な財政負担を伴う支援は慎重に考えなければならないと判断していますが、手薄な妊婦・出産前後のサポート事業などを新たな支援に取り組みます。	
1-7	○ 学校給食費を助成して子育て支援	⇒ 現在の2子以降の軽減策を継続してまいります。	⇒ 同 左	

基本目標 3	子どもを生み、育てたいという希望をかなえる
--------	-----------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-8	○ 他の市町村と比較しても100%とは言えないまでも取り組みは進んでいる。	⇒ 現制度で手薄なところを充実したいと考えています。	⇒ 同 左	
2-2	○ 共稼ぎ世帯は子どもが1人、2人という方が多い状況。若い世代が北斗市に結婚して転入する、子どもが産まれて転入するという方への助成をするというのがよいのでは	⇒ ご指摘を踏まえて効果的な支援制度を構築してまいりたい。	⇒ 直接的な給付支援よりも子育て支援策や教育環境の充実などを選択された方々が北斗市への移住を決定していただけるよう取り組みます。	
2-3	【女性の社会復帰】 ○ 介護ため会社を辞め介護を終えて社会に戻りたいとなったときに中々戻れる雇用の場が難しく、そのような状況にある人の再雇用も考えてもらいたい	⇒ 女性の社会進出において必要なサポートであり、国の支援制度の紹介に努めてまいりたい。	⇒ 同 左	
2-4	【婚活事業】 ○ テレビ番組で婚活の内容もあるので活用してみてもどうか	⇒ 婚活事業の適否や内容などについて検討してまいりたい。	⇒ 民間による婚活事業が実施されており、市の婚活事業は予定していません。	
2-5	○ 街コンがあたりまえという風潮になれば有効だが、今は抵抗感があると思う	⇒ 同 上	⇒ 同 上	

基本目標 4	住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る
--------	-----------------------

No.	意見要旨	指摘事項に関する現状 または 総合戦略における方針	総合戦略における取組内容(案)など	備考
1-1	<p>【茂辺地・石別地区の振興策】</p> <p>○ 石別地区も若い人が少ないが福祉施設の職員が100人程度いて函館市内から通勤している。そのような方々が住めるような環境整備ができれば人を増やせるのではないかと</p>	⇒ 茂辺地地区や石別地区の定住・地域振興策は、市全体よりも限られた資源の中で施策を講じる必要があるという点での難しさはありますが、高規格道路整備による時間短縮、都市計画区域外である地価の安さや豊かな自然など、その地域にしかない利点や資源を活かした施策を総合戦略に盛り込みたいと考えています。	⇒ 総合戦略において石別地区と茂辺地地区の地域振興に取り組みます。なお、具体的内容は、年度内に開催する地域の皆さんとの意見交換を踏まえて決定する予定です。	
2-1	○ 当別への海水浴場の設置、トラピスト修道院周辺の雰囲気、満喫、ローマへの道冬物語の充実	⇒ ご指摘を踏まえて石別地区の地域振興策を検討してまいります。	⇒ 同上	
1-2	<p>【市民の満足度を高めるサービス】</p> <p>○ 市民の満足度を高める市民サービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サービスと子ども医療費助成 ・ 一生住み続けたいと思わせる環境づくり 	⇒ 誰からも選択していただけるよう取り組みを進めます。	⇒ 市民サービスの維持を基本として、総合戦略による事業を上乗せする考え方です。	
1-3	<p>【函館圏域の枠組みでのまちづくり】</p> <p>○ 函館市のベットタウンである側面を考えれば、七飯町も含めて函館圏として構想することが必要で、交通網の整備など市民の暮らしの向上に繋がると思う</p>	⇒ 定住自立圏事業、公共交通など、必要なものは広域で取り組みます。	⇒ 公共交通に関しては、利用者の利便性の向上を図る取り組みを進めます。	
2-2	<p>【地域コミュニティ】</p> <p>○ より身近な地元の人とのつながりができる工夫が必要で、そのような取組みが各町内会に広がっていければよい</p>	⇒ 地域コミュニティを維持・向上する支援や環境づくりを進めます。	⇒ 同 左	
2-3	○ 移住では新しい人が地元に入ってきてても町内会の方が中に受け入れるようになっているだろうか	⇒ 移住対策に取り組む上でのポイントであると思います。	⇒ 移住者も含めた市政スクールを開催するなど地域コミュニティの形成に努めます。	
2-4	○ 近所の方が率先して声かけしている。隣近所でサポートしている。	⇒ 同上	⇒ 同上	